



# 福岡県立 西田川 高等学校



## 生徒の自尊感情を育み、「主体的な学び」を促す授業改善の取組

平成30年度授業改善の重点項目 ~ 生徒が見通しを持ち、安心して学習に取り組める授業環境の整備

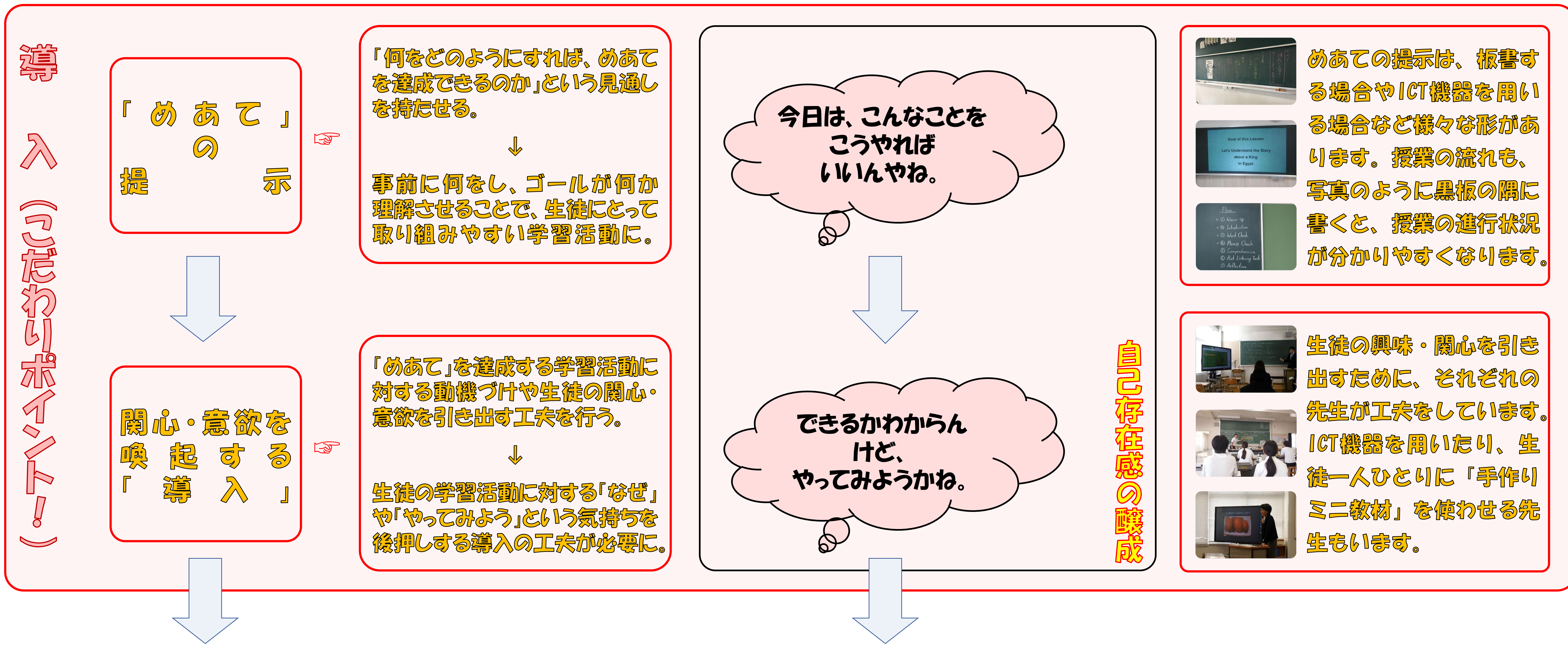
- ・ 「めあて」の提示 と生徒による「振り返り」の実施
- ・ 生徒の興味・関心を喚起する授業の導入の工夫

### 実際の授業のイメージ

### 具体的には？

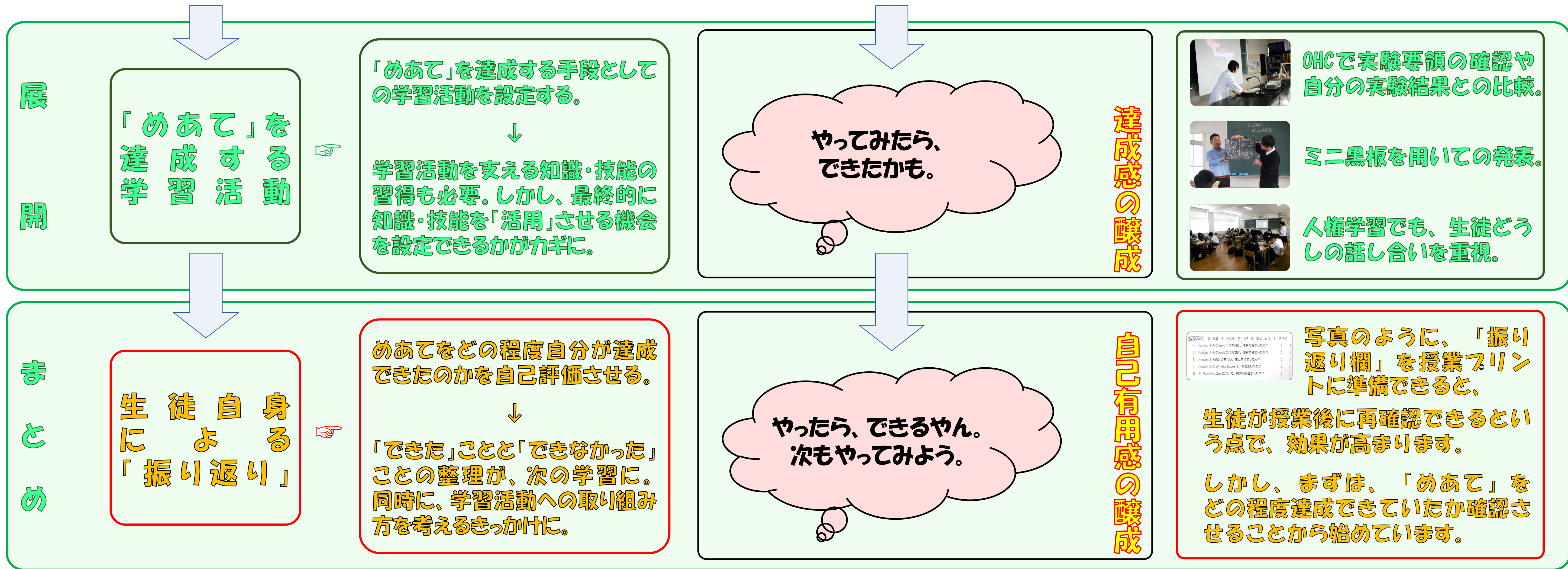
### 生徒の感じ方

### 取組の実際



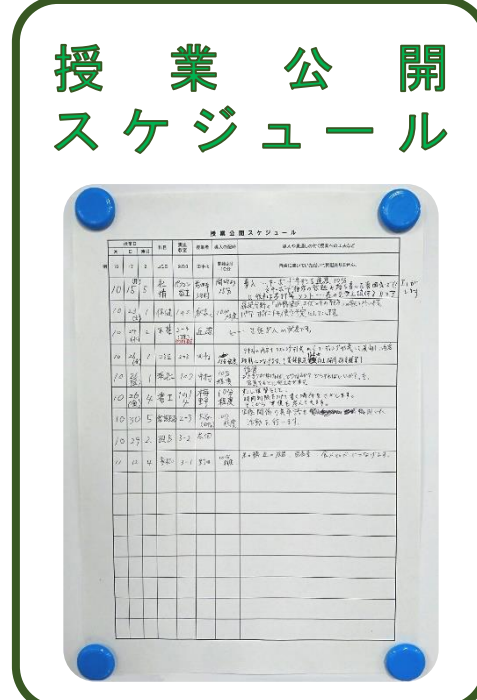
生徒の興味・関心を引き出して、展開へ





## 校内研修体制について

- ・ 年間2回の「授業見学期間」の実施
  - ★ 基本コンセプト～「授業を行う方も、見る方も気軽に！」
  - ⇒ 「導入部分のみの参観でOK！」
  - ⇒ 研究授業の実施・参観の心理的ハードルを下げる効果大！



本校では、これまで1時間単位での研究授業を行ってきましたが、その実施・参観がしにくい状況となっていました。部分公開・参観を取り入れたことで、実施率・参観率が確実に上昇しています。参観結果は、見学カードで実施者に還元しています。

### 生徒の声

- ・ 何をすれば評価してもらえるのかがはっきりしていて、授業を受けやすい。
- ・ 「なんとなく」授業を受けることが少なくなった。

### 教員の声

- ・ 授業ごとの焦点が絞りやすくなった。(20代教員)
- ・ 提示する「めあて」の表現をよく考えないと、生徒の気付きを阻害しかねないため、工夫が必要。(40代教員)

### 成果

- ・ まずは「主体的学び」に授業改善の主眼を絞ったことで、指導経験の比較的少ない先生達にも取り組みやすいものとなった。(取組内容の心理的簡素化)

### 課題

- ・ 今年度は、「見通しの立つ授業」をテーマに絞って授業改善を行っているが、今後、それぞれの先生の授業力によって、学校全体での段階的授業改善を推進する必要がある。(授業改善のOJT)